

例 ○○○○会規約

(名称)

第1条 本会は○○○○会（以下「会」という。）という。

(事務局)

第2条 本会の事務局は、岡山市××××に置く。

(目的)

第3条 本会は、の向上と会員相互の交流をはかるとともに、地域文化の発展向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) の開催と運営
- (2) 研修会の開催
- (3) 本会の振興発展に寄与する事業
- (4) その他

(構成)

第5条 本会は本会の目的に賛同する者をもって構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。
会長1名、副会長1名、事務局○名、会計1名、監事2名

(協議)

第7条 その他運営に必要な事項は、その都度○○○○会において協議の上決定する。

(任期)

第8条 役員任期は2年とし、再任をさまたげない。

(経費)

第9条 経費は会費、事業収入、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。

(その他)

第10条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則 この規約は、令和○○年○月○日から施行する。

例 ○○○○会役員名簿

役職 氏名

会長 △△△△

事務局 ××××

▼▼▼▼

会計 ◆◆◆◆

監事 ◇◇◇◇

★★★★

※住所・電話番号等の個人情報の記載は必要ありません

例

令和〇〇年度事業報告書

令和〇〇年度

- 4月〇日 役員会総会を開催
- 4月×日 〇〇〇ホールにて春季定期発表会
- 5月△日 会報 〇〇1号を発行
- 5月□日 ×××公民館にて研修会
- 6月〇日 〇〇〇と合同練習会
- 7月×日 東京都にて全国大会に出場
- 8月△日 小学生対象にワークショップを開催
- 8月□日 会報 〇〇2号を発行
- 9月〇日 〇〇支部第〇回発表会を開催
- 9月×日 海外へ練習生を派遣
- 10月△日 ××支部定期発表会を開催
- 10月□日 本部〇〇先生を迎えて特別練習会を開催
- 11月〇日 〇〇〇ホールにて秋季定期発表会
- 11月×日 地域文化際に参加
- 12月△日 高齢者施設にて交流会を開催
- 1月□日 新年〇〇発表会にゲスト出演
- 2月〇日 〇〇文化センターにて初心者の為の講習会を開催
- 3月×日 ×××公民館にて研修会

例

令和〇〇年度決算書（前年度収支決算書）

収入

項目	金額	備考
前年度繰越金	40,030 円	
会費	530,000 円	10,000 円×53 名
チケット売上	293,200 円	大人 800 円×249 人 子供 500 円×188 人
預金利息	472 円	
合計	863,702 円	

支出

項目	金額	備考
施設使用料	80,000 円	〇〇〇ホール 大ホール 1 回 20,000 円×2 回 練習室 1 回 5,000 円×2 回 会議室 1 回 5,000 円×1 回 〇〇〇文化センター ホール 15,000 円 会議室 5,000 円 練習室 5,000 円
連盟加入年会費	20,000 円	
印刷製本費	619,500 円	会報 262,500 円 定期発表会プログラム 357,000 円
ワークショップ 材料代	19,425 円	
交通費	29,000 円	本部講師 岡山～東京往復
通信連絡費	23,100 円	
講習会講師費用	10,000 円	
事務用品費	5,775 円	
次年度へ繰越	56,902 円	
合計	863,702 円	

※団体の通年（一年間を通じた）の決算書を基本とします。年一回程度の公演・発表会等の事業を行っており、その事業の会計しかない（団体として他にお金の出し入れがない）場合、事業決算書で代替いただいても構いません。

例 令和〇〇年度事業計画書

1 方針

- ・ 地域、他団体との連携を強化し本会の芸術文化活動を広く知っていただく。
- ・ 昨年に引き続きワークショップを開催し、次代を担う子どもたちへ芸術文化の浸透を図る。
- ・ 本部講師を招聘し、技術力の強化を図る
- ・ 高齢者施設などで公演を行い社会貢献活動へも参加する。
- ・ 結成30周年を迎えるため、記念行事を開催する。

2 予定

令和〇〇年

4月〇日	役員会総会を開催
4月×日	〇〇〇ホールにて春季定期発表会
5月	会報 〇〇1号を発行
5月□日	×××公民館にて研修会
7月×日	京都府で開催予定の全国大会に参加予定
8月△日	小学生対象にワークショップを開催予定
8月	会報 〇〇2号を発行
9月〇日	〇〇支部第〇回発表会を開催
10月△日	××支部定期発表会を開催
10月□日	結成30周年記念発表会開催予定 (秋季定期発表会を兼ねる)
11月×日	地域文化際に参加
12月△日	高齢者施設にて交流会を開催予定
1月	結成30周年特別会報を発行予定
2月〇日	〇〇文化センターにて初心者向けの講習会を開催
3月×日	×××公民館にて練習会

例

令和〇〇年度予算書（収支予算書）

収入

項目	金額	備考
前年度繰越金	56,902 円	
会費	550,000 円	10,000 円×55 名
チケット売上	275,000 円	大人 800 円×250 人 子供 500 円×150 人
預金利息	398 円	
合計	882,300 円	

支出

項目	金額	備考
施設使用料	110,000 円	〇〇〇ホール 大ホール 1 回 20,000 円×3 回 練習室 1 回 5,000 円×3 回 会議室 1 回 5,000 円×2 回 〇〇〇文化センター ホール 15,000 円 会議室 5,000 円 練習室 5,000 円
連盟加入年会費	20,000 円	
印刷製本費	650,000 円	会報 300,000 円 定期発表会プログラム 350,000 円
ワークショップ 材料代	21,800 円	
交通費	30,000 円	本部講師 岡山～東京往復
通信連絡費	30,000 円	
講習会講師費用	10,000 円	
事務用品費	10,500 円	
合計	882,300 円	

※団体の通年（一年間を通じた）の予算書を基本とします。年一回程度の公演・発表会等の事業を行う予定であり、その事業の会計しか予定していない（団体として他にお金の出し入れがない）場合、事業予算書で代替いただいても構いません。